



2020年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月10日

上場会社名 マニー株式会社
 コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 高井 壽秀
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 (氏名) 高橋 一夫
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 028-667-1811

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第1四半期の連結業績(2019年9月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	4,345	9.5	1,401	11.8	1,578	5.3	1,050	66.0
2019年8月期第1四半期	4,801	2.0	1,589	40.1	1,667	35.5	3,086	266.0

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 1,548百万円 (17.7%) 2019年8月期第1四半期 1,316百万円 (12.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	10.67	
2019年8月期第1四半期	31.36	

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	39,288	36,054	91.8
2019年8月期	39,813	35,327	88.7

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 36,054百万円 2019年8月期 35,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期		30.00		30.00	60.00
2020年8月期					
2020年8月期(予想)		11.00		11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 2019年8月期の中間配当金及び期末配当金には、それぞれ特別配当7円が含まれています。

2. 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、2020年8月期(予想)の中間配当金及び期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,040	0.5	2,940	1.2	2,819	3.5	2,213	45.1	22.49
通期	18,924	3.3	6,302	7.5	6,053	6.4	4,795	21.4	48.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の発行済株式数(自社株式を除く)により算定しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期1Q	106,911,000 株	2019年8月期	106,911,000 株
期末自己株式数	2020年8月期1Q	8,484,435 株	2019年8月期	8,484,435 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期1Q	98,426,565 株	2019年8月期1Q	98,426,978 株

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中通商交渉の長期化、米国とイランとの危機をはらんだ関係や香港での暴動などによる地政学的な緊張の高まりもあり、安定感を欠いた状態で推移しております。一方で国内経済は、企業業績の伸長により雇用情勢や所得環境が改善し、全体としては穏やかな回復基調にあるものの、消費税増税による消費マインド悪化などの影響もあり、先行き不透明な状況となっております。

このような環境下、当社グループにおきましては、引き続き需要の拡大が見込まれる新興国市場において、現地販売拠点を中心にマーケティングの強化を図り、各国におけるユーザーニーズの把握、販売網の整備に努めました。デンタル関連製品は、中国及びインドにおいて売上を増加させることができました。一方、利益寄与度が低く、当社独自では品質改善が困難である歯科用実体顕微鏡等の販売終了に伴い売上が減少しました。また、サージカル関連製品においては、米国の対イラン経済制裁による影響、アイレス針関連製品においては、大口顧客の在庫調整により受注が減少したことで、全体としては減収となりました。

生産面においては、2019年10月3日に発生したMANI HANOI CO., LTD. のベトナムフーエン第1工場クリーンルームでの火災に対して、サージカル関連製品への影響を最小限にとどめるべく、代替生産体制の構築を進めるとともに、当該クリーンルームの早期復旧ならびに再発防止策について対応を進めました。さらに、従来国内工場で行っていた品質向上及びコスト削減に向けた生産工程の改善をベトナム主体で推進し、生産の効率化及び生産技術の向上に努めてまいりました。

開発面においては、前連結会計年度よりサージカル、アイレス針、デンタルの各セグメントの開発部門を集約させ、セグメントの枠を越えた技術交流・設備の共有化に加え、開発管理体制を機動的に行えるプロジェクト制へ移行し新製品開発をより強力に進めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,345百万円(前年同期比9.5%減)、営業利益は1,401百万円(同11.8%減)、経常利益は為替差益が前年同期より増加したことにより1,578百万円(同5.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益の減少ならびにベトナム工場火災に伴う火災損失の計上により1,050百万円(同66.0%減)となりました。

なお、ベトナム工場火災による損害については保険を付保しておりますが、当該損害に係る保険金の受取額は現時点で全て確定していないため、当第1四半期連結累計期間では確定している一部のみ計上しております。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(サージカル関連製品)

品質評価の高い眼科ナイフの売上が国内及び中国で好調に推移した一方、米国経済制裁の影響によりイランでの売上が低調に推移したことから、売上高は1,384百万円(前年同期比0.3%減)となりました。また、ベトナム工場火災及び眼科ナイフ増産への対応により、一時的に生産の非効率が生じ、セグメント利益(営業利益)は390百万円(同12.5%減)となりました。

(アイレス針関連製品)

前連結会計年度より続いている海外大口顧客の在庫調整の影響により、受注が低調に推移したことから、売上高は1,237百万円(前年同期比21.1%減)となりました。また、売上高が減少したことから、セグメント利益(営業利益)は502百万円(同20.7%減)となりました。

(デンタル関連製品)

ダイヤモンドの売上が国内外で好調に推移した一方、利益寄与度の低い歯科用実体顕微鏡等の販売を終了したことに伴う売上の減少により、売上高は1,724百万円(前年同期比6.5%減)となりました。一方、売上高は減少したものの、利益率の高い製品の売上割合が増加したこと等により、セグメント利益(営業利益)は507百万円(同0.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ525百万円減少し、39,288百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少ならびに、繰延税金資産が減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,252百万円減少し、3,233百万円となりました。これは主に、未払金の減少ならびに、未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ727百万円増加し、36,054百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、2019年10月10日の「2019年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,909,148	16,528,230
受取手形及び売掛金	2,300,649	2,183,399
有価証券	1,088	—
商品及び製品	1,241,945	927,341
仕掛品	3,076,132	3,313,732
原材料及び貯蔵品	1,565,711	1,652,133
その他	341,015	441,281
貸倒引当金	△3,238	△3,082
流動資産合計	25,432,453	25,043,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,035,034	4,004,407
機械装置及び運搬具(純額)	4,563,990	4,395,254
土地	1,132,979	1,132,979
その他(純額)	825,964	1,027,591
有形固定資産合計	10,557,969	10,560,233
無形固定資産		
のれん	255,763	228,961
ソフトウェア	23,523	21,559
その他	642,472	651,525
無形固定資産合計	921,759	902,047
投資その他の資産		
投資有価証券	2,310,735	2,507,742
繰延税金資産	382,333	63,533
保険積立金	193,761	193,761
その他	14,466	17,845
投資その他の資産合計	2,901,296	2,782,882
固定資産合計	14,381,025	14,245,163
資産合計	39,813,478	39,288,199

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	182,854	149,213
未払金	818,296	563,877
リース債務	—	50,307
未払法人税等	1,620,242	302,635
賞与引当金	387,075	366,648
その他	621,168	895,217
流動負債合計	3,629,637	2,327,900
固定負債		
リース債務	—	43,027
役員退職慰労引当金	79,610	83,580
退職給付に係る負債	632,656	631,245
資産除去債務	112,562	115,868
その他	31,875	32,279
固定負債合計	856,703	906,001
負債合計	4,486,340	3,233,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	988,731	988,731
資本剰余金	1,036,311	1,036,311
利益剰余金	35,983,884	36,428,650
自己株式	△3,125,424	△3,125,424
株主資本合計	34,883,502	35,328,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	415,546	565,501
為替換算調整勘定	214,688	341,811
退職給付に係る調整累計額	△186,600	△181,284
その他の包括利益累計額合計	443,634	726,028
純資産合計	35,327,137	36,054,298
負債純資産合計	39,813,478	39,288,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
売上高	4,801,335	4,345,819
売上原価	1,663,605	1,460,599
売上総利益	3,137,730	2,885,219
販売費及び一般管理費	1,548,691	1,483,629
営業利益	1,589,038	1,401,590
営業外収益		
受取利息	6,896	23,849
受取配当金	21,433	6,312
為替差益	29,301	146,544
その他	22,286	4,881
営業外収益合計	79,917	181,587
営業外費用		
支払利息	36	647
持分法による投資損失	—	3,728
その他	1,152	14
営業外費用合計	1,188	4,390
経常利益	1,667,767	1,578,788
特別利益		
固定資産売却益	—	19
投資有価証券売却益	2,749,996	1,241
受取保険金	—	13,335
特別利益合計	2,749,996	14,596
特別損失		
固定資産除却損	262	28
役員退職慰労金	28,540	—
火災損失	—	104,755
特別損失合計	28,802	104,784
税金等調整前四半期純利益	4,388,961	1,488,600
法人税、住民税及び事業税	1,273,076	260,930
法人税等調整額	29,059	177,099
法人税等合計	1,302,135	438,030
四半期純利益	3,086,825	1,050,570
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,086,825	1,050,570

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	3,086,825	1,050,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,036,381	149,954
為替換算調整勘定	262,585	334,898
退職給付に係る調整額	3,070	5,316
持分法適用会社に対する持分相当額	—	8,257
その他の包括利益合計	△1,770,724	498,427
四半期包括利益	1,316,100	1,548,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,316,100	1,548,997

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より一部の在外子会社においてIFRS16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。当該会計基準の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累計の影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が92,494千円増加し、流動負債の「リース債務」が50,307千円及び固定負債の「リース債務」が43,027千円増加しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

連結子会社のうちMANI HANOI CO.,LTD.、MANI VIENTIANE SOLE.CO.,LTD.、MANI MEDICAL HANOI CO.,LTD.、GDF Gesellschaft für dentale Forschung und Innovationen GmbHの決算日は6月30日であります。連結財務諸表の作成に当たっては、同決算日現在の決算書を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行って行いましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結決算日である8月31日に本決算に準じた仮決算を行い連結する方法に変更しております。

また、連結子会社のうちMANI YANGON LTD.の決算日は9月30日であり、馬尼（北京）貿易有限公司の決算日は12月31日であり、MANI MEDICAL INDIA PRIVATE LIMITEDの決算日は3月31日であります。連結財務諸表の作成に当たっては、6月30日現在で実施した本決算に準じた仮決算に基づく決算書を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行って行いましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結決算日である8月31日に本決算に準じた仮決算を行い連結する方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2019年7月1日から2019年8月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年9月1日至2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,387,801	1,568,122	1,845,411	4,801,335	-	4,801,335
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	35,214	-	35,214	△35,214	-
計	1,387,801	1,603,337	1,845,411	4,836,550	△35,214	4,801,335
セグメント利益	446,630	634,227	508,179	1,589,038	-	1,589,038

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,384,106	1,237,065	1,724,647	4,345,819	-	4,345,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	61,788	-	61,788	△61,788	-
計	1,384,106	1,298,854	1,724,647	4,407,608	△61,788	4,345,819
セグメント利益	390,780	502,883	507,926	1,401,590	-	1,401,590

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。